

# 中村元 慈しみの心

1 総合

山陰中央新報

## 中村元 慈しみの心 No.322

貧しくしてへつらわざるはあれども、富みておごらざるはなし。(道元)  
△解説▽へつらうとはおべっかを使うことである。人間としての矜持を失うものである。だからへつらわず、自主性を堅持する人は少なくない。これに対し、富者はすべて奢るものだ。道元は言いきっている。逆に見る方がわかりいい。驕り高ぶっている人は例外なくそれなりの富があり、地位があり、権力を持っている。

奈良康明・駒澤大名義教授

2016.9.26 中村元記念館協力

2016年(平成28年)9月26日(月曜日)

## 中村元 慈しみの心 No.321

向上一路 千聖不伝(向上の一路、千聖は伝えず)。(景德伝灯録)  
△解説▽物事を学び、熟達していくためにはまず先達のやり方を「マネ」び(「学び」)、そして自分のものとしなければならぬ。所詮は自分の問題であり、訓練が熟し向上する経緯は人それぞれ異なる。祖師方もそれを語っていないし、語っても意味がない。自分で熟達せよと突き放している。

奈良康明・駒澤大名義教授

2016.9.26 中村元記念館協力

2016年(平成28年)9月25日(日曜日)

## 中村元 慈しみの心 No.324

トンボがはかなく飛んできて、身のまわりを飛びまわる。飛べる間は飛べ。やがて飛べなくなる。(種田山頭火)  
△解説▽山頭火は酒を愛し、晩年には自然を友としつつ「行乞の旅」を続けた俳人である。時は秋。自分のまわりを飛ぶトンボは間もなく死ぬ。はかない命への哀れさが身にしみ。自分に同調させながら、山頭火はトンボに今のうちに飛べるだけ飛んでおけ、と語りかけている。

奈良康明・駒澤大名義教授

2016.9.28 中村元記念館協力

2016年(平成28年)9月28日(水曜日)

## 中村元 慈しみの心 No.323

鏡を磨いて垢をとり清らかにすれば自分の姿がみえるように、欲望を抑え空を守れば、すなわち道の真を見て、宿命を知る。(ブツダ)  
△解説▽昔の鏡は銅製ですぐ曇る。だから磨けば磨くほどに自分の顔、形がよく見えてくる。しかし自分の心を映す鏡はない。そこで、一歩退いて自分で自分の心を眺めてみる。自分で「いやらしい」と思う自分が見えてくる。そうした自分の正体を見よ、とブツダは説いている。

奈良康明・駒澤大名義教授

2016.9.27 中村元記念館協力

2016年(平成28年)9月27日(火曜日)

# 中村元 慈しみの心

1 総合

山陰中央新報

## 中村元 慈しみの心

No.326

生死の大事を超えんと思わば、まず無上菩提心を起こすべし。菩提心とは無常を観ずる心なり。(大智)

△解説▽人間誰も死にたくない。しかし死ぬことは定まっている。ブツダもこのギャップに悩んで出家修行し、無常という真実を自覚し肯えれば死を素直に受け入れられると悟った。大智は鎌倉期の禅僧で、生死の大事である死に対するには、無常を観る心を訓練せよと教えた。

奈良康明・駒澤大名譽教授

2016.9.30 中村元記念館協力

2016年(平成28年)9月30日(金曜日)

## 中村元 慈しみの心

No.325

自分の欠点を批判し、なすべきでないことを指摘してくれる聡明な人は隠れた宝の在りかを示してくれる人である。そういう賢者につき従うならば、善いことがあり、悪いことはない。(ブツダ)

△解説▽人間には自分で気付いていない欠点もあり、気付いていない悪癖もある。それを指摘されると腹がたつ。しかしその欠点を矯正できたら自分が磨かれ、自分の宝が増えることもある。発想をかえ、嫌がらずに、そうした賢者に従うのがよい。

奈良康明・駒澤大名譽教授

2016.9.29 中村元記念館協力

2016年(平成28年)9月29日(木曜日)

## 中村元 慈しみの心

No.328

道心の中に衣食あり、衣食の中に道心なし。(最澄)

△解説▽私の友人に書道一筋に努力してきた書家がいる。年齢とともに生活は幾ぶん楽になったが、若い時ほどして食べていたか自分でも分からないと述懐している。道心といふのはひたすら仏道を学び続けることだが、飢え死ぬことなどないから心配しない。衣食を心配しているところに道心はない。

奈良康明・駒澤大名譽教授

2016.10.2 中村元記念館協力

2016年(平成28年)10月2日(日曜日)

## 中村元 慈しみの心

No.327

戒あつて犯する者は、戒なくして犯せざるに勝る。(智頭)

△解説▽例えば「生物を殺すな」という戒がある(「不殺生戒」)。戒とはあるべき行為パターンで、具体的に命をどう大事にするかは各自の自覚と判断にまかされている。根底にあるのは慈悲心であり、守れなかった時には反省(懺悔)する。戒とはそういうもので、100%守れないでも、何の規範もないよりはるかに優っている。

奈良康明・駒澤大名譽教授

2016.10.1 中村元記念館協力

2016年(平成28年)10月1日(土曜日)